

実に先を求めて」という目標を月信第一号に掲げた訳でございます。

私はジアイ R I 会長に質問を考えておりました。「あなたの国のフォークランド諸島は英国の武力によって奪還されました。そのことをあなたはどのように思いますか」という質問です。しかし私はできませんでしたが彼の6つの目標の4番目に「次の世代を準備することによって未来を築こう」というニュー・ジェネレーションの考えを掲げました私は強く共鳴するものでございます。

私は「大きな視野で世界を見つめよう」というテーマを掲げております。これは年来の考え方でありまして、国連難民高等弁務官である緒方貞子さんの話です。カルガリーの大会で素晴らしい瞬間を体験できました。彼女がロータリアン以外に差し上げる国際理解賞受賞の瞬間です。彼女は傍らの大きなスクリーンに悲惨な光景が次々に投影される中で、ベトナム、ルアンダ、ザイール等の状況を淡々と語った上で、数日後には賞金とトロフィーをジュネーブの事務所に持ちかえり、また紛争の地へ向かうと言われました。皆さんには今日まで財団にご協力を頂いておりますが彼女は5000人近い財団奨学生の名簿の2番目に記載させている方で1951～2年に東京クラブの財団奨学生としてアメリカに1年間留学されています。新潟クラブの奨学生としてアメリカに留学しました山本正治君に先の地区大会では彼の思い出を語るようお願いしました。こうしたことも大きな視野で世界を見つめようという考え方の一つでございます。もう1つはある新聞に「日本は中国に対して大きな投資をし、積極的に経済援助を行っている。しかし中国の高官の師弟の大半はアメリカに留学し、帰国後は中国の為に働くでしょう。アメリカは大きな投資をしないかわりに人材育成という的確な方法で中国に大きな地歩を占めつつある」とありました。11月末から12月初旬にかけて神戸でゾーン会議が予定されていますがその前に日本の6大都市の最も古いクラブの会長が集まり、大都市で抱えるエイズ、苛めなどの大きな問題を洗いざらい出しあう年としており、神戸でのインターアクト大会での話し合いの材料にするというアンビシャスな考えでありまし。ここには香港、ソウル、台湾の会長も招かれています。21世紀の日本も超少子化高齢化に直面する中でどのように対処していくべきか、又それぞれの都市が抱える大きな問題を一緒に考え、ロータリーも地区では、地域ではどうあるべきかなど徹底的に議論したいといっています。

今年の5月、新潟クラブの主催する会にアラスカのバスターK、吉田氏が、大阪の地区大会にR I 会長代理として参る途中立ち寄られました。彼はラウル山脈以東にすでに5つのRCを新設しています。これは1月～5月までの集計の中で世界の多くの新設がありましたが、ヨーロッパでは既に151のRCが設立されており、この中にはいわゆる東欧、旧ソ連も含まれております。そうした中でみなさんと共に、大きな視野で世界をみつめてゆくべきだという考え方で、訴え申し上げます。

新潟県で3番目の設立順位であります柏崎、そして広井~~形~~之助さん以来ガバナーをおだしになっていない長岡、なぜガバナーをおだしにならないのか。私は大きな地区の小さい村上で一生懸命頑張っております。地区大会や地区協議会開催致しました頃いろんなネックがございました。しかしロータリーの善意でそして善意がガバナーの仕事でもあらうと考えやってみりました。そうした大きい善意をどうぞみなさんは新しいキャンパスに自由にお書きになり、先輩、あるいは長老会員のすばらしいアイデアもミックスされながら、かぎりない発展、前進をおつけ下さるようお願いいたします。ご拝聴ありがとうございました。

11月26日例会： 卓話「旅」 平松利朗会員

12月3日例会： 年次総会



三条北ロータリークラブ週報

築け未来を
行動力と先見の眼で

例会日
1996. 11 . 19
累計 No 489
当年 No 20

国際ロータリー会長 ルイス・ビセンテ・ジアイ 第2560地区ガバナー 吉田昭平

会長／堀川 正 幸

幹事／佐藤 義 英

SAA／長谷川 恵 慈

例会日／火曜日 12:30～13:30

例会場／三条ロイヤルホテル

事務局／三条市西四日町3-15-34

ヒューマン・ハーバー内

☎34-8111 FAX34-8114

☎35-7160 FAX33-8972

行 事：吉田昭平ガバナー公式訪問 於 銭心亭おゝ乃

出 席： 本日の出席 56名中46名

先々週の出席率 56名中51名 91.07% (前年同期81.82%)

先週のメイクアップ： 11月13日 三条RCへ 梨本清一さん

14日 見附RCへ 淵岡 茂さん

18日 三条南RCへ 中條耕二さん、大野新吉さん、加藤 實さん、

江口悟さん、本間茂男さん、石川勝行さん、高橋彰雄さん

ビジター： 加茂RCより 山川裕士さん

三条RCより 外山一郎さん、菊池涉さん、山田富義さん、野村竹三郎さん

石橋育於さん、高橋政志さん、渡辺弘栄さん、丸山行彦さん

斎藤隆さん、林光輝さん

三条南RCより 野島廣一郎さん、馬場信彦さん、西村吾一さん、三原徹夫さん

ゲ ス ト： 国際ロータリー第2560地区ガバナー 吉田昭平様

新潟第四分区代理 小池 勝様

会長挨拶： 堀川正幸

ご挨拶申し上げます。

本日は吉田ガバナーの公式訪問ということで色々ご指導いただくことになっております、吉田ガバナーどうぞよろしくお願い致します。9時30分に米山さんと二人でワシントンホテルにガバナーをお迎えにあがり、歴史民族資料館にご案内致しました、色々見て回りましたが、歴史的にみても三条と村上とは縁が深かったことがわかりました。そのあと大野さんのお宅にお邪魔をしてお茶をいただきましたが、大野さんの先代も村上の出身ということで、又村上と縁がありました。

11時より会長、幹事、会長エレクト、副幹事でガバナーより指導していただきましたが、ガバナーは私達の北クラブは若いクラブで、発想が斬新であり、企画力、行動力にすぐれているので良いと

ころをどんどん伸ばしていただきたい、ただし年長の方々の経験と知恵を加えバランスを取ってやっていただきたいとのことでございます。

又ガバナーはR I 会長の方針に沿って6つの目標を掲げておられますが、その中でも特に1番と4番が重用であり、この二つを強く意識して活動をしていただきたいとのことでございます。今日の学びを今後の活動に生かしていきたいと思います。

幹事報告： 佐藤幹事

- ・2560地区ガバナーノミニー久保田昭治より 1997～98年度会長幹事報告のお願い
- ・明るい町づくり推進委員会より 明るい町づくり運動への協力について（お願い）
- ・2560地区1997～98地区幹事より 1997～98年度ガバナーノミニー事務所地区主要行事（案）
- ・2560地区幹事、オン・ツー・グラスゴー委員長より オン・ツー・グラスゴークラブ内推進委員会開催のお知らせ
日 時 1996年12月8日（日）11：30～
会 場 NASPAニューオオタニ
- ・三条市吹奏楽団より 創立20周年記念演奏会のご案内
日 時 平成8年12月1日（日）13：15開場
会 場 加茂文化会館大ホール
- ・前事務局員五十嵐宏子さんのお義父さんが亡くなられたので会より香典を届けました。

ニコニコボックス： 19日現在累計 421,000円

- 吉田昭平君 （ガバナー）
小池勝君 （分区代理）
梨木建夫君 吉田ガバナー様、小池分区代理様ようこそ北ロータリークラブへ。会長、幹事を多いにいじめて下さい……？親睦委員は可愛がって下さい……／お願いします！
今井克義君 吉田ガバナー、小池分区代理に感謝いたします。それにしても今日のお昼はリッチですね。村上産の鮭とは饒心亭の名に恥じない心遣い。さすがです、大野さん。
芦田義重君 吉田昭平ガバナー公式訪問を記念して
佐藤義英君 吉田ガバナー、小池分区代理本日はよろしく願いいたします
西村護君 吉田ガバナー三条北ロータリーにご訪問ありがとうございます。これからのご指導よろしくおねがい致します。
山上茂夫君 吉田ガバナー、小池分区代理を歓迎して
長谷川博一君 吉田ガバナーを歓迎いたします。
本間建雄美君 吉田ガバナー御指導の程よろしくお願い致します。



一昨年8月の大地震に日本経済新聞の私の履歴書というコーナーの第3回目に山岸章前連合会長はこんなことを書いております。「ゆるされるならばこんなカン獄である」というようなくだりでございます。彼は私より2ヶ月遅く予科練へ入った男でございます。当事15才でこんなことを思った人は一人もいなかったはずで。彼はおそらく彼の後年の考え方を監獄であるという言い方にしたに違いありません。

朝日新聞にもあるご婦人からの投稿でしたがこんな歌がのってありました。「予科練兵 15才の墓いぶかしむ 孫の達也 はや11才」おそらく肉親の1人を失った方に違いありません。もう1つ戦後青い山脈という映画が大変ヒットいたしました。その中の女優、杉ヨウ子さんもロサンゼルスから朝日新聞に兄のもとに随分多くの友人が来たけれどもその殆どは戦死したそうでした。若い人達の多くの犠牲によって今日の日本の繁栄があるんだという投書であります。

私は幸い、無事に復員いたしました。郷里の大先輩中央大学の教授稲葉修先生にもお世話になりました。その後残念なことに兄が亡くなり私が家業を継いで現在に至っているところでございます。地区の小さな村上ロータリークラブ創立以来我家が例会場ということで一生懸命勤めさせて頂いております。

昨年高田の地区大会で「私は今日までロータリーによって、いろいろの事を沢山教えて頂き、そしてロータリーによって得難い友人を沢山得ることが出来ました。これからも誠実に愚直に一生懸命お勤めをしてまいります」と皆様の前ではっきり申し上げました。このことは私のロータリー大好き人間と自称いたしていることと生涯変わらずこの考え方を貫くつもりであります。

私が今着用しているブレザーの色は煉瓦色というそうです。今年2月アナハンで行われました国際協議会で518名の世界のノミニーそれぞれのセッション会場に1枚の煉瓦が据え置かれました。私はだいたい同じ形のものを櫓の板に刻りまして煉瓦色にみたてて持ってまいりました。ちょうど昼休み頃に背の高い外国のノミニーが私のところへ1枚の絵葉書を持ってきました。絵葉書には98～99年度のG S Eを希望する旨書いてありました。報告書の中にも絵葉書の転写がありますが、煉瓦色の建物の中からロータリーインターナショナルの基礎の殆どが出来上がったに違いない、1818年ポール・ハリスの祖々父によって建てられたものであると説明してあります。

6月のカルガリーでの国際大会の席上、ハイル・ビヤンチ・ジアイR I 会長は婦人、4人の息子さん共々この煉瓦色のブレザーを着用し、スポットライトを浴びました。ジアイ会長の第一声は傍らの大きなスクリーンに写し出されたのはたった一枚の煉瓦でございます。彼は私共ノミニーに対して今日まで多くの先輩、ロータリアンによってロータリーの今日の繁栄があり、どうか96、97年度のノミニーの諸君は是非ガバナープラスという活動を1枚の煉瓦となって支えて頂きたいという要望でありました。私の煉瓦も偶然ではありますがこんな真義でになります。それは1932年ハーバート・J・テラーが会社の建直しの為に4つのテストを提示したことは著名であります。そして1954年彼はR I 会長に就任し、その際6つのターゲットを掲げました。ジアイ現会長の掲げる目標もまた6つで酷似しております。そういったことから私は「温故知新」という言葉を使って「誠